

第 20 回日本感性工学会春季大会 優秀発表賞

2025 年 3 月 5 日(水)～7 日(金)、京都工芸繊維大学にて開催された第 20 回日本感性工学会春季大会の優秀発表賞は、予稿原稿による事前審査、および、口頭発表による当日審査の結果に従って、4 月 3 日の優秀発表賞選考委員会において慎重に協議した結果、下記の 13 件に決定致しました。今後の研究の発展と、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

※優秀発表賞では、予稿の書き方や研究の目的設定、発表の方法や質疑応答等が優れており、また今後の研究の進展に期待できる若手研究者を顕彰します。なお、本賞は発表内容の正しさを必ずしも保証するものではありません。

蒲池 桃花(福岡大学)

香りの嗜好性に対する気分や状況の因果関係

北河 茜(株式会社島津製作所)

マルチデバイス生体計測システムを用いたパッケージ開封評価の検討

松浦 希歩(信州大学)

ワクワク感の計測と誘導方法に関する研究

長野 航大(山梨大学)

レビューサイト上の画像群に基づく観光名所の感性情報抽出手法の提案

平林 和恵(株式会社資生堂)

Chemical Clues to Happiness - Identifying Skin Emissions -

野間 朝子(中央大学)

デザイン評価の過程で熟達段階の違いが脳活動と視線移動に及ぼす影響の時系列解析
—アナログ半導体回路図面における調査—

芝野 凜(東京大学)

人型ロボットの外観における親和感の数理モデル化—不気味の谷のベイズモデル—

野本 凜乃(名城大学)

多層クラッド鋼のダマスカス模様に対する感性品質の日タイ比較

本多 詩聞(東京大学)

人型ロボットの外見と動作における不気味の谷の数理モデル—観測の不確かさが親和感の低下を抑制する—

牛尾 貴志(博報堂DY ホールディングス)

自由エネルギー原理を用いた動画広告の視聴者感情モデリング

諸橋 利奈(慶應義塾大学)

アバターロボットを用いた座位姿勢改善システムの疲労低減効果の検証

加藤 拓巳(明治大学)

都市の生活音に対するサイレントマジョリティの印象の可視化
—鐘の音と子どもの声が公園の魅力に与える影響—

中村 もも花(信州大学)

ベースメイクアップ化粧品を塗布したバイオスキンプレートにおける艶感の光学的要因

以上

第 20 回日本感性工学会春季大会優秀発表賞選考委員会

委員長：石川智治（宇都宮大学）

委員：寶珍輝尚（京都工芸繊維大学）、上條正義（信州大学）、張珏（工学院大学）、柳澤秀吉（東京大学）、荻野晃大（京都産業大学）

審査委員（所属略）：荒川尚美、石川智治、稲垣照美、大森宏、長篤志、加藤健郎、上條正義、川澄未来子、坂本隆、庄司裕子、鈴木育男、西村英伍、西村治彦、野澤昭雄、長谷川良平、福田収一、古川貴雄、柳澤秀吉、吉岡聖美、井ノ上寛人、奥田紫乃、岡嶋克典、岡本正吾、荻野晃大、加藤昇平、加藤拓巳、柿山浩一郎、岩下志乃、吉田宏昭、宮武恵子、橋田規子、金貝屋、高寺政行、佐々木和也、柴田滝也、秋田直繁、小山慎一、松居辰則、菅原徹、菅谷みどり、石橋賢、川中美津子、村松慶一、大倉典子、竹村和久、中村一美、猪本修、張珏、長田典子、南雲健人、入澤裕介、浜田百合、布川博士、福本誠、寶珍輝尚、堀場洋輔、堀田裕弘、木下雄一朗、柳田佳子、鈴木雅洋、姜南圭、櫻井将人